

## 社会資本総合整備計画

### 『持続可能な下水道事業の推進（防災・安全）（その2）』の事後評価

#### ●委員

過去に、台風による浸水のため、下水が溢れた経験がある。ストックマネジメント計画の策定により下水道機能を維持し、衛生的な生活が保たれていることはありがたい。

また、下水処理に電気代が多くかかっている、機械の更新により使用電力や温室効果ガスを低減していると聞いた。これからも計画的に下水を処理し、清潔に保っていただきたい。

#### ●委員

東日本大震災の際、東北の下水処理場が津波の被害にあった。それから長い期間、ほぼ未処理の下水が太平洋に放出された。同じことが琵琶湖で起きると、大きな社会的影響を与えてしまう。また、滋賀での下水処理の役目としては、滋賀県民だけでなく、関西全域の生活の質を守っていることである。引き続き琵琶湖の水質を守っていただきたい。

#### ○事務局

下水は常に発生しているものであるため、機器を維持し適切に処理を続ける必要がある。改築更新や地震対策等の計画を策定し、下水道の機能を保っていく。

#### ●委員

電気代については、下水管ではなく、処理施設の設備に電気を多く使うということかと思うが、下水道料金を減らす対策は行っているか。

#### ○事務局

下水道においては、下水が発生し続ける限り、ポンプや水処理に多くの電気が必要である。しかし、老朽化した機器を更新する際に省エネ化するなど、使用電力量を少しでも減らすよう努めている。

#### ●委員

下水道料金は上水の量で決まるため、使用者が無駄に水道を使わないことも大事だと思う。

●委員

滋賀県の下水道普及率は90%以上ということだが、農村部では公共下水道に接続していないところもあると思う。今後、県全域で公共下水道に統一していくのか。

○事務局

県全域を公共下水道に取り込むところまでには至っていない。農業集落排水施設等で処理している地域を下水道に接続するかどうかについては、10年に一度程度見直しながら、事業を進めているところ。

●委員

基本的に下水道は大部分の区間で自然流下しているため、山間部など地形的な問題で下水道を接続するのが難しいという問題がある。また、水量が少ない場合も、下水を流すことに技術的な難しさも考えられる。

●委員

日本の大都市の大部分は合流方式であるが、滋賀県では分流式を採用しているため、その利点を活かし、効率的に汚水を処理していただきたい。

○事務局

分流式の水質保全における利点を踏まえ、下水を処理していきたい。

●委員

公共事業として、5年間で320億円という大きな予算規模であるが、下水道の専門的な機器については、競争入札を行っているのか。

○事務局

一般競争入札し、総合評価により受注者を決定している。

●委員

仕様書などを作成する際、最新の技術については、フォローできているのか。

○事務局

各メーカーの技術について、ヒアリングを行っている。

**○事務局**

総合評価方式等では、様々な点で評価が行われるが、例えば処理の安定性や機器の省エネ性能、下水汚泥の有効利用率などが挙げられる。

**●委員**

3つ目の定量的指標について、当初現況値が79%となっているのはなぜか。

**○事務局**

守山栗東雨水幹線の整備は過年度から行っているため、当初現況値は本計画の開始年度時点の供用開始部分の数値としている。

**●委員**

定量的指標の分母に当たる数字は、雨水整備をすれば浸水対策ができそうなエリアに対して区域が設定されているのか。

**○事務局**

区域は新守山川という河川に排水される範囲として設定されており、浸水については区域に降雨シミュレーションを行い、想定している。

**●委員**

2つ目の定量的指標はアウトプットののではないか。資料にあるように、事業費の平準化を行っているのか。

**○事務局**

資料に掲載している図は、ストックマネジメント計画による予算の平準化の一般的な例を示している。

**●委員**

予算の平準化は一例ということだが、ストックマネジメント計画に基づく改築更新の事業効果は資料に掲載されているか。

**○事務局**

ストックマネジメント計画において、予算の平準化は事業を継続する上で重要であるが、計画の目的としては、膨大な数の設備の状態を把握し、長期的な視点を鑑み、適切に改築更新を行うことである。

本来、下水道機能の安定性を目標として定めたいところだが、直接測ることが難しいため、今回は改築の実施率を目標として定めたところである。

**●委員**

予算の平準化については把握した。安定的に改築更新されていることは資料中のどこに示されているか。

**○事務局**

資料P27に提示している。

**●委員**

ありがとうございます。